

[I] 日本の地体構造に関する次の(A)～(J)の各文に施した下線部②～④は三つとも正しいか、一つに誤りがある。三つとも正しい場合には①の記号をマークしなさい。また、一つに誤りがある場合には、その記号をマークしなさい。なお、下線部に複数の項目が並列されている場合、その一つでも誤っている場合は誤りとする。問題を解くにあたって下図は参考になる。

- (A) 日本は一国内に②4枚のプレートが出会うという世界でも希な地域にあたる。そのうち、③海洋プレート同士がぶつかって一方のプレートが沈み込んでできたものの一つが伊豆小笠原弧で、この南方延長に④マリアナ弧が続く。
- (B) 2011年の東日本大震災に係わるプレートは、②太平洋プレートとユーラシアプレートである。主に西日本で大地震が生じるとして恐れられているプレート境界型地震に係わるプレートは、③フィリピン海プレートとユーラシアプレートである。なお、日本列島は、④北アメリカプレートとユーラシアプレートから成っている。
- (C) 東日本はほぼ、②千島弧と東北日本弧から構成される。両弧は島弧沿い方向の火山前線で③火山弧と非火山弧に二区分することができる。非火山弧に属する山地例として、④天塩山地と北上高地を挙げることができる。
- (D) 西南日本弧は、島弧沿い方向の②火山前線で外帯と内帯に区分される。外帯に属する山地例として、非火山域の③紀伊山地と四国山地を挙げることができる。内帯の丘陵としては④吉備高原と丹波高地を挙げることができる。
- (E) ②糸魚川・静岡構造線は日本列島上のプレート境界になっている。これはナウマンが発見した③フォッサマグナの西縁にあたっている。この付近の地殻変動は大変活発で、この西方の日本アルプスを形成した。日本アルプスのうち、外帯に属しているのは④飛騨山脈である。
- (F) 北方四島は②千島弧に位置する。このうち、非火山弧に属するのは、③国後島や色丹島である。なお、国後島の長軸はこの北西にある④知床半島とそれと同様、北東-南西方向を示している。
- (G) 沖縄県の尖閣列島は②ユーラシアプレート上にあるが、③琉球弧には属さず、④南シナ海の大陸棚上にある。

- (H) 日本最南端の沖ノ鳥島は②フィリピン海プレート上に、最東端の南鳥島は③太平洋プレート上に位置している。日本の最西端の与那国島は④ユーラシアプレート上に位置している。
- (I) 日本列島の主要な山地・山脈の多くは島弧方向に延びているが、島弧方向に直交またはそれに近い方向を示す地域がある。その一つが前述の日本アルプス域であるが、この東方の②関東山地も同様である。北海道でも同様の③日高山脈や北見山地などの山地列がある。これらと規模は小さくなるが、近畿地方では④鈴鹿山脈や和泉山脈を挙げることができる。
- (J) 日本列島およびその続きの弧状列島には、東日本火山帯と西日本火山帯が分布している。それぞれ②複数の海洋プレートの沈み込みによって形成されている。前者を構成する火山としては③太雪山や蔵王山を、後者を構成する火山としては④阿蘇山や霧島山を挙げることができる。



太い実線はプレート境界。細い実線は海岸線。ただし、南西諸島の島々や台湾はプレート境界線に隠れているか省略している。